

湘南ヤクルト販売株式会社矢部センター 様

(横浜市戸塚区矢部 533-1-101)

○日頃の見守り活動について教えてください。



商品のお届けのため、定期的にお客様のご自宅を訪問しています。その際、お客様に手渡しで商品をお渡しする場合と、玄関先の宅配ボックスに置いておく場合があります。

毎回、手渡しで商品をお届けしているお宅で、訪問時にチャイムを鳴らしても応答がない場合は、心配になります。過去にも、訪問時に応答がなく、翌日に伺っても在宅の様子がなかったので、最寄りの地域ケアプラザに連絡したことがあります。

このように、お客様の自宅を訪問した際に応答がない場合は、何度か様子を見に行くようにしています。

このほか、お客様でなくても、道で熱中症のためしゃがみ込んでいる方や道に迷っている方などに声をかけるなど、地域で困っている方がいらっしゃったら、積極的に声をかけています。

○日頃のお仕事の内容を教えてください。

湘南の青い海、青い空のような爽やかな笑顔とともに、科学的に裏付けされたヤクルト製品を、毎日ご家庭や事業所の皆さまへお届けしています。お届けは、「ヤクルトレディ」が担当エリアをバイクや自転車で訪問しています。日々、お届けで地域を訪問することで、地域を知り、地域の皆さまとつながることができると思っています。



○「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」のために大切なことは何だと思いますか？

ヤクルトの制服を着た女性＝「ヤクルトレディ」を街の中で見かけることも多いと思います。「制服」かつ「女性」ということで、街で困った時に声をかけやすい雰囲気があるように思います。

先日、自分の行き先が分からなくなってしまった女性がおり、そこをたまたま通ったヤクルトレディが声をかけられました。ご本人が持ち物を見せてくれ、その内容から障害がある方だと分かりました。「これから勤務先に行くのだが、道が分からなくなってしまった。」「親から『何か困ったことがあったら、制服を着た女性に声をかけなさい。』とされている。」とのことでした。その後、何とか勤務先の連絡先を調べ、連絡し、勤務先の方と待ち合わせることができました。

今後も地域の方に安心して声をかけていただけるような存在でありたいと思います。また、地域で困っている方がいらっしゃったら、引き続き積極的に声をかけていきたいと思っています。



(上記は、2018年9月時点の内容です。)